

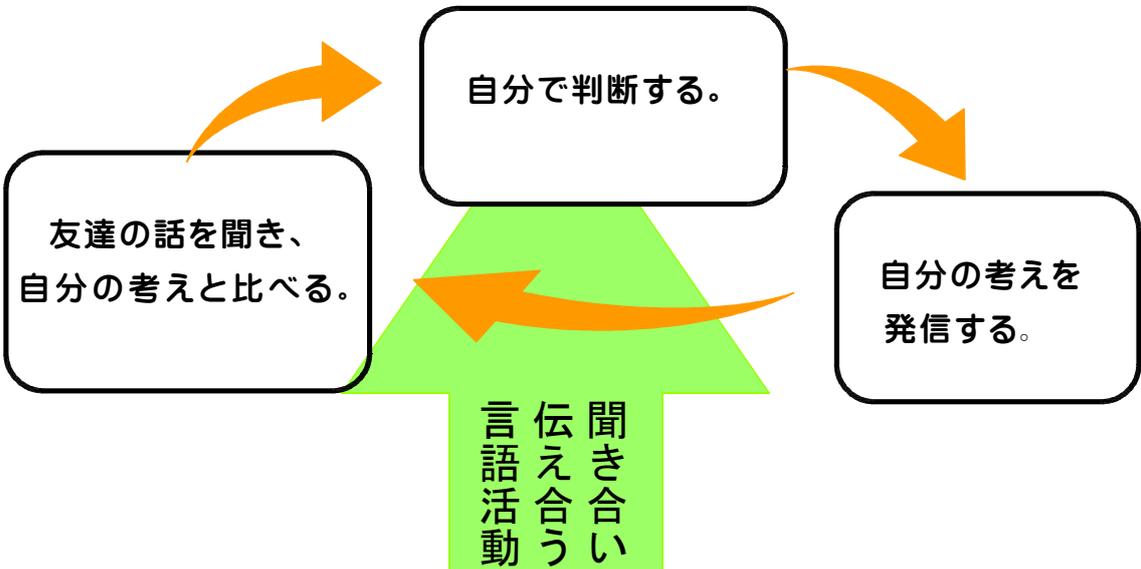
学 校 教 育 目 標

進んで学ぶ子 心豊かな子 最後までがんばる子

研 究 主 題

対話して考えを深めることのできる児童の育成
～聞き合い伝え合うことを中心とした言語活動を通して～

考えを深める児童



授業研究部

授業での対話に必要な事柄の整理

- ・どの学年でどのようなことができるようになるのか。(内容、対話の仕方)
- ・どの学習でどのような対話を行うのか。
- ・対話のルーブリック評価の作成

身に付けさせたい力

- 学びに向かう力・人間性
- 知識・技能の習得
- 思考力・判断力・表現力

調査・環境部

言語環境の整備

- ・三尻っ子カードの充実 書く題材、活用の仕方
- ・学習のルール
- ・読書との関連

学習の基盤

- 授業規律の確立
- 落ち着いた授業環境
- 知識・技能の確実な習得
- 思考力・表現力の育成

児童の実態

- 明るく素直である
- △表現力・コミュニケーション能力が不足
- △思考力・判断力の育成が課題

家庭・地域の実態

- 地域が協力的である
- 歴史と自然にあふれている
- △二極化の傾向がある

平成 30 年度三尻っ子カードの取り組み

平成 30 年 4 月 6 日(金)

国語部

1 取り組み方

- ・ 全校で行う。
- ・ 1・2年生はマスの用紙、3年生以上は行の用紙を使う。
(マスの大きさや、行数などは児童の実態に応じて変える。児童に選ばせてもよい。)
- ・ 1週間に1度程度の割合で取り組む。(年間35回程度)
(基本は水曜日の学習タイム。授業で使う場合もあるので、その場合は臨機応変に。
1年生は、はじめのうち、話をさせる。)
- ・ 全校朝会がある週には、必ず校長先生の講話の感想を書く。原則、低学年はその日の国語の時間に、中学年以上は、次の日の学習タイムに書く。
- ・ 視写・コラムも、三尻っ子カードの用紙に行う。(コラムは別紙に印刷する。)
- ・ 書く内容は、原則として学年で話し合ってから決めるが、クラス独自の内容があってもよい。

2 書いた後の処理

- ・ どんなテーマで書いたのかを記録しておく。
- ・ 書いたものに担任が目を通し、よいところには赤で~~~~~、わかりづらいところや書き手に読み直してもらいたいところは_____、誤字、表記の誤りなどは、『三尻小スタイル』国語5ページの「書いた文章を読み直そう」の直し方で朱を入れる。
- ・ 原則として、コメントは入れない。
- ・ 花マル等で評価をする。一律に全員同じではなく、先生からの評価がわかるようにする。
- ・ 必要に応じて、書き直しをさせる。(主に、表記面。誤字、漢字を使っていない等。)
- ・ 観点を決めて、よい作品を選び、担任が読み聞かせることがあるとよい。
- ・ 学年で場所を決めて掲示する。

国語学習便りテーマ予定

- 4月 漢字ノートの使い方 漢字テストの実施について
- 5月 ノートについて、鉛筆の持ち方
- 6月 音読、読書について
- 7月 三尻っ子カードについて
- 9月 三尻っ子カードから
- 10月 振り返りについて
- 11月 読書月間 おすすめの本紹介
- 12月 漢字テスト・国語辞典
- 1月 おすすめの本紹介
- 2月 三尻っ子カードから